

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所) ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	(株)萌福祉サービス ケアセンターはぼーれグループホーム1号館	評価実施年月日	平成21年6月15日
評価実施構成員氏名	平尾 小笠原 土谷		
記録者氏名	平尾 輝子	記録年月日	平成21年6月20日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	ホーム内に経営理念、介護理念を掲示すると共に朝礼時に唱和している。		
2 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	朝礼時に理念の唱和を実施している。共に、1日の目標を設定し実施している。		
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者さんが地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	見学时、契約時に説明し、ホーム内の掲示板に提示している。		
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	買い物や外出等の際、気軽に声を掛け合ったり、気軽に立ち寄って頂けるよう、常日頃挨拶と声掛け、面会の制限を設けずに、気軽に入って頂ける様説明しています。		
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	地域の行事等へ積極的に参加して交流を深めています。		
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	町主催の催事の参加、デイサービス利用者様、ご家族又、他施設との交流を持ち情報交換等での親交深めております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	自己評価を行って、現状の確認をして、職員全員で改善に努めています。		
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議での意見交換や、そこでの意向等に従えるよう、サービス向上に繋げる取り組みを行っております。		
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	町との連携は、必要不可欠であり、常に連携を密に取っています。		
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	利用者様の必要が生じた場合や、御家族よりの相談に応じて、必要な支援を行っています。		
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会のテーマで社全体で取り組んでいます。又、ネットや福祉施設での資料等を収集し、職員が正しく認識をして、虐待行為のないケアを実践しています。		
4. 理念を実践するための体制			
12 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に書面にて説明している。その際は、必ず利用者様やご家族の疑問点や御意向等伺い、十分な説明を行い、御理解、納得を得た上で契約を交わしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様の意見、不満、苦情は常に管理者、全職員が対応を行い、改善策をミーティングで話し合いサービス改善につなげています。		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	毎月ご家族へ近況報告を、お便りを通じて行っています。異変時には、直ちに連絡する事を徹底しています。		
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	相談窓口を契約書に明記し、周知徹底している。苦情や意見を受けた際は、改善策をミーティングで話し合い、再発防止に努めている。		
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月上長者会議を実施、月に一度の全体会議を行い、又、毎日10分間ミーティングを行い、運営向上に努めております。		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	受診や行事等を勘案し、勤務ローテーションを組んでいます。		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者様へのダメージを防ぐ配慮をしている。	利用者様が馴染みの関係での支援受けられる配慮と異動や代わる場合において、適した人材を採用しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	勉強会を様々なテーマで行っています。又、職員に対しの確に助言出来る人材がいます。		
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	会議や電話、訪問する事で連携を図っています。		
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	職員相互の親睦、職員一人の悩み事は、全員の悩み事と捉え解決し、ストレスや不満の軽減に努めております。		
22 向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	全体ミーティング等から意見を取り入れ共に取り組んでいます。日中及び夜間の報告を毎日受ける様周知徹底している。		
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会を作り、受け止める努力をしている。	インテーク面接過程で、不安な事、求めている事等、主訴を受け止め、契約を交わしている。		
24 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会を作り、受け止める努力をしている。	受け付けから面接時の面談で、ご家族の意向をお伺いし、契約を交わしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	グループホームに適応可能な利用者様であるか、他のサービス利用も含め十分に検討しています。		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	個々の状況に応じて、御家族と相談しながらのサービス提供に運んでいます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	様々な関わりの中で利用者様からの喜怒哀楽の感情表現の出来る場面の構築を図っています。		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	行事等の参加や面会を促す事により、利用者様、ご家族様、職員共に喜怒哀楽の場を多く取れる関係を築き上げています。		
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	これまでのご家族の絆が途切れる事無い様お便りや電話等で状況提供し、情報交換に努めています。		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。</p>	面会の制限を設けず、気軽に入って頂けるよう説明しています。又、買い物や外出して、地域の方々と、関わられるようにしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	個々の性格を把握し、人間関係に合わせながらホール内での席の位置の工夫や、その場の雰囲気に合わせて職員仲介に努めております。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退居後の受け入れ先との連携の支援や、常時、相談、受付けを大切にしています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の希望、意向を優先し、アセスメントを行い、全体で検討しています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用開始時に於いて情報収集し、個々のケース、ケアプランに落とし入れております。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	アセスメントに基づいて、抽出し検討した結果を計画に盛り込んでいる。新たな心身状況等の問題点は直ちに見直しを掛け、一人一人に合った生活を過ごして頂ける様努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、ご家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	全職員が計画に対して意見を出し合い計画を作成している。家族より意向を頂き、介護計画に取り入れてますが、利用者様からは、意見をもらう声が難しい。利用者様が、判断出来ない時は、ご家族から聴取してます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、ご家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	実施期間は、明示しており、見直しも行っています。変化等新たなニーズが生じた場合は本人、ご家族と話し合い、新たな介護計画を作成しています。		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	介護記録に、日常状態、食事状態、バイタル等記入し、日々評価し介護計画に反映しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 ご本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	ご本人やご家族からの相談や要望等、常時受け付け意向に応える対処行ってます。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	警察や消防等の協力を頂き、交通安全や防火の説明を受ける機会を持っています。又、民生委員会、ボランティアの慰問や、文化センター等で配慮して頂けるよう働きかけています。文化センター等の催しに作品出展等で参加しています。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	ご本人やご家族の意向に応じて、地域包括支援センターケアマネージャーや福祉施設ケアマネージャーとの連携を図り、意向に従えられる様な支援を取っています。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要に応じて情報交換等の支援行ってます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご本人及びご家族等の希望を最優先した中での連携を密に、関係を築きながら適切な医療を受けられる様支援しています。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	協力医療機関と提携しています。		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	事業所の看護師からの助言と、協力医療機関の看護師との連携を密に行なっています。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院後に、定期的に状態の確認や退院前の話し合いを行っています。病院関係者、ご家族との情報交換や相談を行い連携を常に取っています。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	ご家族、医師との連携を密に行ない、全員で方針を共有しています。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	ご家族、医師との連携を密に行ない、ご家族の意向、医師の情報提供により、チームケアと備え検討支援に取り組んでいます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>関係者と十分な打ち合わせを行って、情報の共有を図っている。</p>		
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>利用者様の言動、行動をまず受け入れる事を徹底とし個人情報の洩れの徹底を行っています。</p>		
<p>51 利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>利用者様からの返答を持つ対応、言動や「笑い」を引き出す工夫を心掛けています。</p>		
<p>52 日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>生活暦及び、ご本人、ご家族より聴取した事を基に関わっています。一人一人のペースに合わせた対応で支援を大切にしています。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>馴染みの店への外出支援、出張床屋さん来て頂いています。</p>		
<p>54 食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>好みの食べ物を聞き取り、献立に組みいれたり調理、片付けも出来る範囲で一緒に行っています。食事利用も利用者様と会話をしながら摂っています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	喫煙、飲酒の希望があれば、対応しています。行事等ではお酒を提供しておりません。		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々の状態に合わせて、誘導を行っています。トイレでの排泄出来る様支援しています。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	原則に自由に行っており、認知力の度合いにより、声掛け支援を行っています。1人づつの入浴としています。曜日は決めずデイサービスでの大浴場での入浴を楽しめる様取り組んでいます。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	利用者のペースで動を束縛する事無く自由にしています。日中は、職員と一緒に場を設け、夜間の安眠策を取っています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	個別での外食や、ドライブ等、外気に触れる機会を取り入れ気分転換し活力に繋がれる様支援しています。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	利用者様で自己管理している方と、金銭管理は現状で行えていない方は、ホームで管理しています。希望や買い物に出掛けた時は、支払いをして頂いております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	これからの季節、外での行事企画や散歩、買い物等に出掛ける支援を行っています。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	これからの時節、外での行事企画や、散歩、ドライブや又個別での外食、ご家族参加での会食等、普段行けない所に出掛ける機会を設けています。		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話等を自由に使える様にしています。携帯電話所有の利用者様もおります。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面会は、いつでも出来る様にし、宿泊も対応しています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	セミナーへの参加や勉強会での資料で、身体拘束ゼロを実践で取り組んでいます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	危険な箇所以外の施錠はしていない。玄関においては、ロック式の施錠をしている。ご家族等には了承を得て外からは、何時でも入れる様になって居り、チャイム、センサーを取り付けています。		
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	個々の状態を把握した上で目配りや側での見守りを行い、安全に気をつけています。特に夜間帯は安否確認を頻回に行い、安全に配慮しています。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	薬や洗剤、刃物等は、保管場所を定め実施していますが、個々の物品については、状態を確認し、ご家族に了解を得た上での保管場所を決め実施しています。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	インシデントレポートがあり状況について、とりまとめています。再発しない為に活用しております。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	緊急時マニュアルがあり、全職員に対応が周知されています。勉強会の課題に取り入れ全職員で対処方を学んでいます。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	防火訓練の実施や、緊急連絡網での迅速に対応出来る様にしております。町内会や近隣住民の協力体制を取っております。		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	個々の状態を把握し、ご家族との情報の共有を図り、自由な生活空間での援助行っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	日々の細かな変化を職員全体で意識して観察し記録に残しています。異変時は、医療機関、ご家族への連携を密に対応行なっています。		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬についての勉強会や、個々の服薬シートで副作用を理解し、服用に至るまでは、確認の確認作業をしっかりと行い、医師の指示通りに服用しています。		
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	繊維質がふくまれる食材を取り入れる工夫と水分摂取量に気を配っている。身体を動かす体操等取り入れています。		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後は、洗面所へ用具のセッティングを行い、口腔ケアを声掛けし、必要に応じて介助しています。夜間は、入れ歯洗浄剤を使用しています。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分摂取量は毎日把握しています。摂取カロリーについて1日を通してのバランスを取り、栄養、水分量確保に努めています。又、事業所の管理栄養士の指導を受けています。		
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防接種の実施や感染症に対しての対応策を徹底し実行しております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>布巾、まな板は、毎日消毒液につけこんでいます。他の調理器具、冷蔵庫の清掃も実施しています。生ゴミは、毎食後処理し、賞味期限の確認も行っています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>玄関まわりを広く取り、気軽に入って頂ける様にし建物横には、畑を備え家庭的な雰囲気作りを日頃から心掛けています。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>状況に合わせて照明や音を調整し、壁には、写真や月毎のカレンダー等を貼り、共有スペースでの生活空間の工夫を行っています。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングにソファを置いたり、食卓テーブル席で、気の合った同士の会話や、静養室を設け自由に出入り出来る様にしている。</p>		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ストーブ以外は、今まで使用された生活用品や家具類を持ち込んで頂いています。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>利用者様に了承して頂き、換気を行っている。各居室、フロアーには、温度、湿度計を設置し、室温、湿度を確認しながら、適温、湿度になるようにしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ホーム内の随所に手摺を設置している。車椅子、歩行器使用の利用者様が自力で安全に移動出来るスペースを作る工夫をしています。		
86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	全体を統一した色とし壁のシミや傷等は都度取り除くようにしている。トイレや浴室、各居室へプレートを付け、混乱のない工夫をしている。		
87 建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	テラスにテーブルと椅子を設置し、ティータイムを取ったり、屋外食を行ったりしています。物干し竿や畑を設置し、洗濯物干しや野菜の観察育成を行っております。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない 日々の関わりで利用者様の思いや願いを引き出し、暮らし方の意向を掴んでおります。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない 1日2回AM10:00、PM3:00に利用者様、職員でコーヒーやお茶を飲み一緒に過ごしています。その際、軽い体操も行ない、1日でのこの時間を関わりとし大切に行っております。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない 職員側より制約や強制はせず、一人ひとりのペースに合わせております。利用者様が自由にご自分のペースを保ちながら過ごされております。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない 職員側からの声掛けや、会話の中での、生き生きした表情や反応が一番多く見られております。常日頃声掛けや会話の中で意図的に感情表出できる機会を図り喜怒哀楽が表現出来る様関わりを大切にした支援努めております。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない 季節を感じられる行事を全体、個別に企画しご家族様を誘い共に楽しみ外出出来る機会が増える様計画、実施しております。要望のある利用者様には、スーパーや個別外食に出掛けております。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない 毎日の健康チェック(体温、血圧、脈)を行い、異変を早期発見しています。協力医療機関と隣接されており、定期受診や緊急の場合においても、すぐ対応でき、不安なく過ごせて頂いていると思います。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない その時々々の状況に応じて、要望や依頼にお応え出来る様に対応し、安心して暮らして頂いていると思います。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族 家族の2/3くらい 家族の1/3くらい ほとんどできていない ケアプランに副った援助、毎月、お手紙で近況報告、ご家族が面会に来られた際には、ご意向等を伺い情報交換を行っております。遠方にお住まいのご家には、お便りの他に電話での情報交換を密に行っております。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 数日に1回程度 たまに ほとんどない 利用者様のご家族の皆様や友人の方が数日に1回程度来られています。

. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="radio"/> 大いに増えている <input type="radio"/> 少しずつ増えている <input type="radio"/> あまり増えていない <input type="radio"/> 全くいない	利用者様のご家族や地域の方々からのご意見、要望を受けたり、グループホームの良さを知って頂いたりする事で少しずつグループホームを理解して下さる方が増えています。
98	職員は、生き生きと働いている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	人生経験豊かな利用者様から教わる事が沢山あります。関わりをさせて頂ける事に感謝し、遣り甲斐を持って働いております。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	「一人ひとりを大切に」個別のニーズにお応え出来る様、チームアプローチしております。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない	ご家族が面会に来られた際、情報交換行い要望を取り入れ常に利用者様やご家族に満足して頂ける様援助しております。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

グループホームはぼーれは、2ユニットが、1フロアとなっており、広々とした空間の中で利用者様同士やご家族の方々と交流の場が増える事、職員同士も協力体制が整えられ利用者様に反映できる個別での行事や合同での催し事に取り組んでいます。又、デイサービスも併設され、運動も兼ねデイサービスまで散歩をしたり、土、日曜日には入浴も可能、広いホールでカラオケやゲーム等も行ってあります。年間行事の中に、デイサービス利用者様、ご家族の方々と一緒の「クリスマス会」や「もちつき会」や羽幌事業所全体での「夏祭り」等の催事で、地域の方々との交流の場をつくっております。利点は、提携医療機関である、道立羽幌病院が隣にあり、医療面での安心感があります。取り組んでいる点は施設の構造を利用し、食の充実を図る為、調理担当者を配置しその調理に掛ける時間を利用者様との関わりや外食、ドライブ、買い物、温泉等個別での対応に取り組んでいます。

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所) ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	(株)萌福祉サービス ケアセンターはぼーれグループホーム2号館	評価実施年月日	平成21年6月15日
評価実施構成員氏名	平尾 土谷 小笠原		
記録者氏名	平尾 輝子	記録年月日	平成21年6月20日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	ホーム内に経営理念、介護理念を掲示すると共に朝礼時に唱和している。		
2 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	朝礼時に理念の唱和を実施している。共に、1日の目標を設定し実施している。		
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者さんが地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	見学时、契約時に説明し、ホーム内の掲示板に提示している。		
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	買い物や外出等の際、気軽に声を掛け合ったり、気軽に立ち寄って頂けるよう、常日頃挨拶と声掛け、面会の制限を設けずに、気軽に入って頂ける様説明しています。		
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	地域の行事等へ積極的に参加して交流を深めています。		
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	町主催の催事の参加、デイサービス利用者様、ご家族又、他施設との交流を持ち情報交換等での親交深めております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	自己評価を行って、現状の確認をして、職員全員で改善に努めています。		
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議での意見交換や、そこでの意向等に従えるよう、サービス向上に繋げる取り組みを行っております。		
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	町との連携は、必要不可欠であり、常に連携を密に取っています。		
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	利用者様の必要が生じた場合や、御家族よりの相談に応じて、必要な支援を行っています。		
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会のテーマで社全体で取り組んでいます。又、ネットや福祉施設での資料等を収集し、職員が正しく認識をして、虐待行為のないケアを実践しています。		
4. 理念を実践するための体制			
12 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に書面にて説明している。その際は、必ず利用者様やご家族の疑問点や御意向等伺い、十分な説明を行い、御理解、納得を得た上で契約を交わしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様の意見、不満、苦情は常に管理者、全職員が対応を行い、改善策をミーティングで話し合いサービス改善につなげています。		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	毎月ご家族へ近況報告を、お便りを通じて行っています。異変時には、直ちに連絡する事を徹底しています。		
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	相談窓口を契約書に明記し、周知徹底している。苦情や意見を受けた際は、改善策をミーティングで話し合い、再発防止に努めている。		
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月上長者会議を実施、月に一度の全体会議を行い、又、毎日10分間ミーティングを行い、運営向上に努めております。		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	受診や行事等を助産し、勤務ローテーションを組んでいます。		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者様へのダメージを防ぐ配慮をしている。	利用者様が馴染みの関係での支援受けられる配慮と異動や代わる場合において、適した人材を採用しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	勉強会を様々なテーマで行っています。又、職員に対しの確に助言出来る人材がいます。		
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	会議や電話、訪問する事で連携を図っています。		
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	職員相互の親睦、職員一人の悩み事は、全員の悩み事と捉え解決し、ストレスや不満の軽減に努めております。		
22 向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	全体ミーティング等から意見を取り入れ共に取り組んでいます。日中及び夜間の報告を毎日受ける様周知徹底している。		
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会を作り、受け止める努力をしている。	インテーク面接過程で、不安な事、求めている事等、主訴を受け止め、契約を交わしている。		
24 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会を作り、受け止める努力をしている。	受け付けから面接時の面談で、ご家族の意向をお伺いし、契約を交わしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	グループホームに適応可能な利用者様であるか、他のサービス利用も含め十分に検討しています。		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	個々の状況に応じて、御家族と相談しながらのサービス提供に運んでいます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	様々な関わりの中で利用者様からの喜怒哀楽の感情表現の出来る場面の構築を図っています。		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	行事等の参加や面会を促す事により、利用者様、ご家族様、職員共に喜怒哀楽の場を多く取れる関係を築き上げています。		
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	これまでのご家族の絆が途切れる事無い様お便りや電話等で状況提供し、情報交換に努めています。		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。</p>	面会の制限を設けず、気軽に入って頂けるよう説明しています。又、買い物や外出して、地域の方々と、関わられるようにしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	個々の性格を把握し、人間関係に合わせながらホール内での席の位置の工夫や、その場の雰囲気に合わせて職員仲介に努めております。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退居後の受け入れ先との連携の支援や、常時、相談、受付けを大切にしています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の希望、意向を優先し、アセスメントを行い、全体で検討しています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用開始時に於いて情報収集し、個々のケース、ケアプランに落とし入れております。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	アセスメントに基づいて、抽出し検討した結果を計画に盛り込んでいる。新たな心身状況等の問題点は直ちに見直しを掛け、一人一人に合った生活を過ごして頂ける様努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、ご家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	全職員が計画に対して意見を出し合い計画を作成している。家族より意向を頂き、介護計画に取り入れてますが、利用者様からは、意見をもらう声が難しい。利用者様が、判断出来ない時は、ご家族から聴取してます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、ご家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	実施期間は、明示しており、見直しも行っています。変化等新たなニーズが生じた場合は本人、ご家族と話し合い、新たな介護計画を作成しています。		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	介護記録に、日常状態、食事状態、バイタル等記入し、日々評価し介護計画に反映しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 ご本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	ご本人やご家族からの相談や要望等、常時受け付け意向に応える対処行ってます。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	警察や消防等の協力を頂き、交通安全や防火の説明を受ける機会を持っています。又、民生委員会、ボランティアの慰問や、文化センター等で配慮して頂けるよう働きかけています。文化センター等の催に作品出展等で参加しています。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	ご本人やご家族の意向に応じて、地域包括支援センターケアマネージャーや福祉施設ケアマネージャーとの連携を図り、意向に従えられる様な支援を取っています。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要に応じて情報交換等の支援行ってます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご本人及びご家族等の希望を最優先した中での連携を密に、関係を築きながら適切な医療を受けられる様支援しています。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	協力医療機関と提携しています。		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	事業所の看護師からの助言と、協力医療機関の看護師との連携を密に行なっています。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院後に、定期的に状態の確認や退院前の話し合いを行っています。病院関係者、ご家族との情報交換や相談を行い連携を常に取っています。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	ご家族、医師との連携を密に行ない、全員で方針を共有しています。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	ご家族、医師との連携を密に行ない、ご家族の意向、医師の情報提供により、チームケアと備え検討支援に取り組んでいます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>関係者と十分な打ち合わせを行って、情報の共有を図っている。</p>		
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>利用者様の言動、行動をまず受け入れる事を徹底とし個人情報の洩れの徹底を行っています。</p>		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>利用者様からの返答を持つ対応、言動や「笑い」を引き出す工夫を心掛けています。</p>		
<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>生活暦及び、ご本人、ご家族より聴取した事を基に関わっています。一人一人のペースに合わせた対応で支援を大切にしています。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>馴染みの店への外出支援、出張床屋さん来て頂いています。</p>		
<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>好みの食べ物を聞き取り、献立に組みいれたり調理、片付けも出来る範囲で一緒に行っています。食事利用者様と会話をしながら摂っています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	喫煙、飲酒の希望があれば、対応しています。行事等ではお酒を提供しておりません。		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々の状態に合わせて、誘導を行っています。トイレでの排泄出来る様支援しています。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	原則に自由に行っており、認知力の度合いにより、声掛け支援を行っています。1人づつの入浴としています。曜日は決めずデイサービスでの大浴場での入浴を楽しめる様取り組んでいます。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	利用者のペースで動を束縛する事無く自由にしています。日中は、職員と一緒に場を設け、夜間の安眠策を取っています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	個別での外食や、ドライブ等、外気に触れる機会を取り入れ気分転換し活力に繋がれる様支援しています。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	利用者様で自己管理している方と、金銭管理は現状で行えていない方は、ホームで管理しています。希望や買い物に出掛けた時は、支払いをして頂いております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	これからの季節、外での行事企画や散歩、買い物等に出掛ける支援を行っています。		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	これからの時節、外での行事企画や、散歩、ドライブや又個別での外食、ご家族参加での会食等、普段行けない所に出掛ける機会を設けています。		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話等を自由に使える様にしています。携帯電話所有の利用者様もおります。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面会は、いつでも出来る様にし、宿泊も対応しています。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	セミナーへの参加や勉強会での資料で、身体拘束ゼロを実践で取り組んでいます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	危険な箇所以外の施錠はしていない。玄関においては、ロック式の施錠をしている。ご家族等には了承を得て外からは、何時でも入れる様になって居り、チャイム、センサーを取り付けています。		
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	個々の状態を把握した上で目配りや側での見守りを行い、安全に気をつけています。特に夜間帯は安否確認を頻回に行い、安全に配慮しています。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	薬や洗剤、刃物等は、保管場所を定め実施していますが、個々の物品については、状態を確認し、ご家族に了解を得た上での保管場所を決め実施しています。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	インシデントレポートがあり状況について、とりまとめています。再発しない為に活用しております。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	緊急時マニュアルがあり、全職員に対応が周知されています。勉強会の課題に取り入れ全職員で対処方を学んでいます。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	防火訓練の実施や、緊急連絡網での迅速に対応出来る様にしております。町内会や近隣住民の協力体制を取っております。		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	個々の状態を把握し、ご家族との情報の共有を図り、自由な生活空間での援助行っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	日々の細かな変化を職員全体で意識して観察し記録に残しています。異変時は、医療機関、ご家族への連携を密に対応行なっています。		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬についての勉強会や、個々の服薬シートで副作用を理解し、服用に至るまでは、確認の確認作業をしっかりと行い、医師の指示通りに服用しています。		
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	繊維質がふくまれる食材を取り入れる工夫と水分摂取量に気を配っている。身体を動かす体操等取り入れています。		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後は、洗面所へ用具のセッティングを行い、口腔ケアを声掛けし、必要に応じて介助しています。夜間は、入れ歯洗浄剤を使用しています。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分摂取量は毎日把握しています。摂取カロリーについて1日を通してのバランスを取り、栄養、水分量確保に努めています。又、事業所の管理栄養士の指導を受けています。		
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防接種の実施や感染症に対しての対応策を徹底し実行しております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>布巾、まな板は、毎日消毒液につけこんでいます。他の調理器具、冷蔵庫の清掃も実施しています。生ゴミは、毎食後処理し、賞味期限の確認も行っています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>玄関まわりを広く取り、気軽に入って頂ける様にし建物横には、畑を備え家庭的な雰囲気作りを日頃から心掛けています。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>状況に合わせて照明や音を調整し、壁には、写真や月毎のカレンダー等を貼り、共有スペースでの生活空間の工夫を行っています。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングにソファを置いたり、食卓テーブル席で、気の合った同士の会話や、静養室を設け自由に出入り出来る様にしている。</p>		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ストーブ以外は、今まで使用された生活用品や家具類を持ち込んで頂いています。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>利用者様に了承して頂き、換気を行っている。各居室、フロアには、温度、湿度計を設置し、室温、湿度を確認しながら、適温、湿度になるようにしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ホーム内の随所に手摺を設置している。車椅子、歩行器使用の利用者様が自力で安全に移動出来るスペースを作る工夫をしています。		
86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	全体を統一した色とし壁のシミや傷等は都度取り除くようにしている。トイレや浴室、各居室へプレートを付け、混乱のない工夫をしている。		
87 建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	テラスにテーブルと椅子を設置し、ティータイムを取ったり、屋外食を行ったりしています。物干し竿や畑を設置し、洗濯物干しや野菜の観察育成を行っております。		

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない 日々の関わりを出来るだけ多く持ち、その時々利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴み援助できる様努力しています。
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> 毎日ある <input type="radio"/> 数日に1回程度ある <input type="radio"/> たまにある <input type="radio"/> ほとんどない 1日2回AM10:00、PM3:00に利用者様、職員でコーヒーやお茶を飲み一緒に過ごしています。その際中で、軽い手足の運動等も取り入れております。
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない ティータイムや食事の時間以外は、皆様趣味である習字や絵画を居室にて行われていたり、フロアにて歌を聞かれたりと自らのペースで暮らしております。
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない 職員側からの声掛けに感情表現出来る様関わりを持っています。(食器拭き、洗濯物たたみ等日課になっています。
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない 利用者様の希望に添いドライブや、野外行事等戸外に出掛ける機会を作っています
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない 道立羽幌HPと隣接しており、定期受診や緊急の場合にもすぐに対応でき、不安なく過ごされております。
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない 利用者様個人のADL状態や要望に合わせた対応を行い安心して暮らして頂ける様支援を行っています。
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族 <input type="radio"/> 家族の2/3くらい <input type="radio"/> 家族の1/3くらい <input type="radio"/> ほとんどできていない ケアプランに副った援助、毎月、お手紙で近況報告、ご家族が面会に来られた際には、ご意向等を伺い情報交換を行っております。遠方にお住まいのご家族には、お便りの他に電話での情報交換を密に行っております。
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 数日に1回程度 <input type="radio"/> たまに <input type="radio"/> ほとんどない 利用者様のご家族の皆様や友人の方が数日に1回程度来られています。

. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> 大いに増えている <input checked="" type="radio"/> 少しずつ増えている <input type="radio"/> あまり増えていない <input type="radio"/> 全くいない	利用者様のご家族や地域の方々からのご意見、要望を受けたり、グループホームの良さを知って頂いたりする事で少しずつグループホームを理解して下さる方が増えています。
98	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/> ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	関わりの中で人生経験豊かな利用者様から教わる事が沢山あり、それを励みに生き生きと働いています。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	利用者様の趣味、活動に合わせた援助、特に歌が好きな利用者様が多く、演歌を聞いて頂いたり、カラオケをしたり、「楽しかった」等の声が聞かれ満足されていると思います。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない	ご家族が面会に来られた際、情報交換行い要望を取り入れ常に利用者様やご家族に満足して頂いていると思います。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

グループホームはぼーれは、2ユニットが、1フロアとなっており、広々とした空間の中で利用者様同士やご家族の方々と交流の場が増える事、職員同士も協力体制が整えられ利用者様に反映できる個別での行事や合同での催し事に取り組んでいます。又、デイサービスも併設され、運動も兼ねデイサービスまで散歩をしたり、土、日曜日には入浴も可能、広いホールでカラオケやゲーム等も行ってあります。年間行事の中に、デイサービス利用者様、ご家族の方々と一緒の「クリスマス会」や「もちつき会」や羽幌事業所全体での「夏祭り」等の催事で、地域の方々との交流の場をつくっております。利点は、提携医療機関である、道立羽幌病院が隣にあり、医療面での安心感があります。取り組んでいる点は施設の構造を利用し、食の充実を図る為、調理担当者を配置しその調理に掛ける時間を利用者様との関わりや外食、ドライブ、買い物、温泉等個別での対応に取り組んでいます。